

2025 年度 ニチキッズ仙北町駅保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

| 評価方法 | | |
|----------------|------|--|
| 保育士等（全職員）の自己評価 | 評価期間 | 2026年1月5日（月）～1月31日（土） |
| | 実施方法 | 全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。 |
| 保育施設の評価 | 評価日 | 2026年2月3日（火） |
| | 実施方法 | 話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。 |

| 項目ごとの評価 | |
|-------------|--|
| 保育理念 | 「おもいっきり遊ぶ 思いっきり学ぶ」の保育理念に則り、子どもたちがわくわく活動できるような保育を目指してきた。また、STEAM 教育の視点により、自ら考えや思いを持ち、表現してやってみようとする原動力を育めるように努めた。 |
| 子どもの発達援助 | 定期的に園内研修を行い、一人一人の発達や個性を全職員で共有し、共通理解のもと保育を行ってきた。外部機関との連携により、遊びや日々の生活を通して心身の成長を促し、安心して自己表現できる環境を整え、個々に合った発達援助を深めることが出来た。 |
| 保護者に対する支援 | 送迎時や連絡帳、面談等を通して、子どもの園での様子を丁寧に伝え、コミュニケーションを大切に、子どもの成長を共有しながら、安心して園生活を送れるように努めた。今後も家庭と園が連携した保育を大切にしていきたい。 |
| 保育を支える組織的基盤 | 職員会議やミーティング等で、課題について話し合いを重ねてきた。また、不適切保育、感染症や怪我の対応などについての園内研修を行うことで、職員間での連携を強化し、質の高い保育を目指し取り組むことができた。次年度も継続してスキルアップを目指していきたい。 |

| 総評 |
|---|
| 今年度は、盛岡市保育所協議会での「公開保育」の実践を行い、他施設の方々に自園の「夏祭り」をご覧いただいた。職員が一丸となり同じ目標に向かうことで、新しい気付きや保育を振り返る機会となり、保育の質の向上に繋がった。年長児を中心に STEAM 教育を取り入れながら、異年齢交流も深まった。次年度も、子どもの発達や気持ちに寄り添い、子どもの成長を保護者と共有しながら、信頼関係を基盤とした保育を展開していきたい。 |